デスク

865PAD

組立・取扱説明書

保存版 保証書付

Study
DESK
スタディデスク

このたびはオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この組立て・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

組立には⊕のドライバーが必要です。
ご用意してから組立ててください。
＊電動ドライバーは、製品を破損する恐れがあるので、使わないでください。

組立ては2名以上で行ってください。

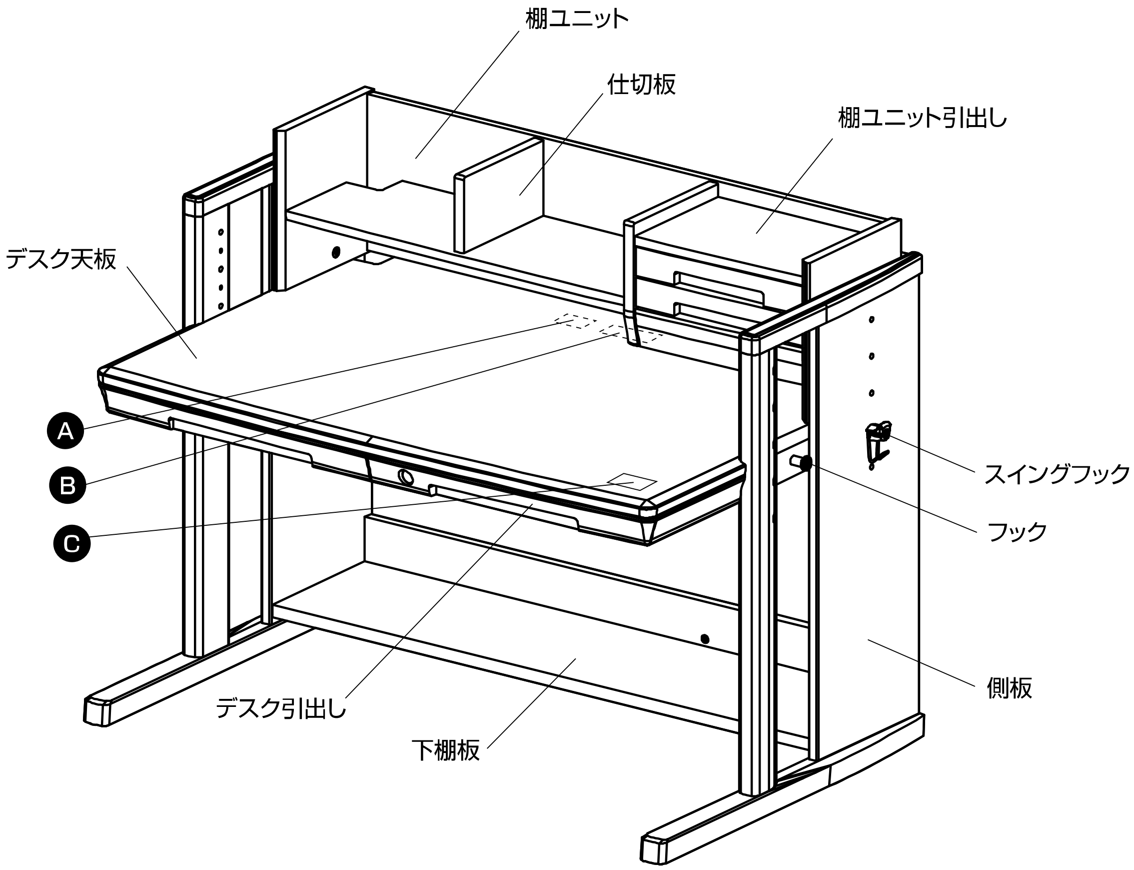
組立完成図（各部の名称）

A
okamura
ロッドNo. ABCD1E W000
検査コード
JOIFA 000
製品番号シール

B
家庭用品品質表示法に基づく表示
********************* **************
********************* **************
************** **********
**************** ********* ********
品質表示シール
（引出し下板底面に貼付）

C
⚠注 意
本体の上にのらないでください。
警告ラベル
（天板表面に貼付）

（注意ラベルは剥がさないでください）



okamura

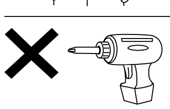
安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠ **注 意**	**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。**

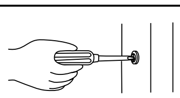
⚠ 注 意

⚠ 組立て上のご注意

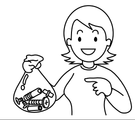
組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに使用して正しく組立ててください。



組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外せなくなる恐れがあります。

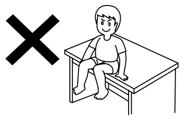


組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかり取付けられているか確認してください。



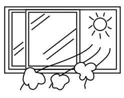
組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

⚠ 取扱い上のご注意

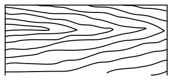


製品を乱暴に取扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のることは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。

製品に載せるものは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり危険です。
天板最大積載質量=40kg（等分布質量）
*等分布質量とは、天板や棚板に均等に質量をのせることを意味します。

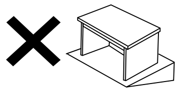


購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがすることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。

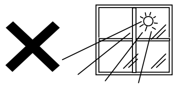


本製品は天然木を使用しています。
製品それぞれ異なった表情をしているため、木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。

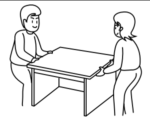
⚠ 据付け時のご注意



水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。



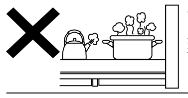
直射日光のあたる場所、湿度や温度の高い場所、ストーブ･エアコンなどの熱や風が直接当たる場所での使用は、変質変形変色のもとになりますので避けてください。



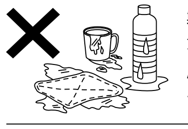
製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。
製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

湿度の高い場所に設置した場合、カビなどが発生するおそれがあります。定期的に換気をするようにしてください。

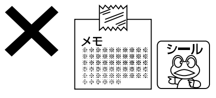
⚠ 末永くお使いいただくために



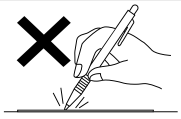
高熱になっているものを直接製品の上に載せないでください。
変質･変形･変色の原因となります。



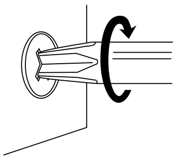
製品の上を濡らしたままにしたり、濡れた布や水滴のついたものなどを放置しないでください。表面材の変形や目割れ･膨張、シミ･腐食の原因となります。濡れた場合は、水分が残らないようにすぐにふき取ってください。



製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。
表面材がはがれる原因となります。



硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。
変形やキズの原因となります。



ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあった場合はしっかり締め直してください。
ゆるんだまま使用した場合、変形･破損及び転倒の危険があります。

⚠ お手入れについて

必ず乾いたやわらかい布で木目に沿ってふいてください。濡れ雑巾を使いますと目割れ、膨張の原因になります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を薄めた中性洗剤溶液で濡らし、硬く絞って良く汚れをふき取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。多量に水分が残ると変形･変色の原因となります。

アルコールやシンナー系の溶剤や化学雑巾、市販のクリーナーは表面を傷めますので絶対に使用しないでください。変色などの原因となります。

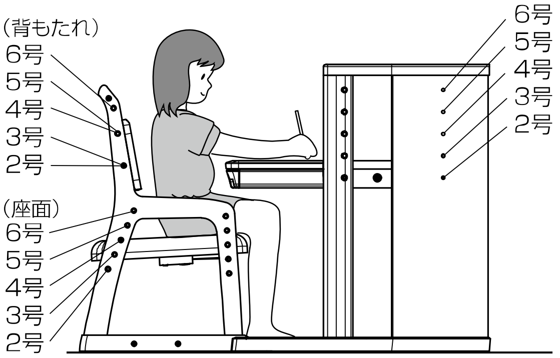
天然木の特徴　天然木は天然材料のため木目や色も様々で、材料の持つ個性により多少の色の違いが出る場合があります。また、天然木は呼吸をする素材ですので、使用環境により反りやゆがみが出ることもあります。これらの特徴も、天然木は味わいとして楽しむことができ、使えば使うほどその味わいも増していく独特の素材です。 ※天然木とは、無垢材、ハギ材、集成材、突板などです。

組立前にご確認ください。

デスク天板の高さ、イスの高さ・奥行き

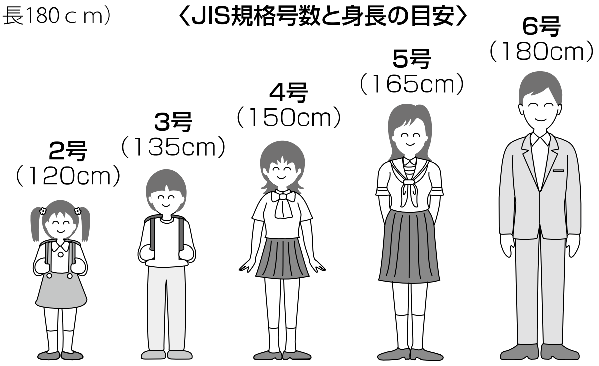
このデスクは、学校用家具のJIS規格 2号（身長120ｃｍ）から6号（身長180ｃｍ）に対応して、５段階で天板の高さを調節できます。
下図は、各JIS号数に応じた組立時の高さの目安を示したものです。
お子様の身長に合わせて、適切な高さでご使用ください。
高さ調整は、付属の紙メジャーをご使用ください。

〈 JIS規格号数と机（天板）の高さの目安 〉



※この表は標準的な目安の寸法です。実際にはお子様の身長・体型に合わせて机・イスの高さ、奥行きを決めてください。

〈JIS規格号数と身長の目安〉



組立前にチェック

お子様の身長に該当する号数に○を付けて天板の高さを決めましょう。

〈JIS規格号数と机・イスの高さ・奥行きの目安〉

JIS規格号数		2号	3号	4号	5号	6号
標準身長（cm）		120	135	150	165	180
机	天板の高さ（cm）	52	58	64	70	76
イス	座面の高さ（cm）	30	34	38	42	46
	座面の奥行き（cm）	29	33	36	38	40

デスク

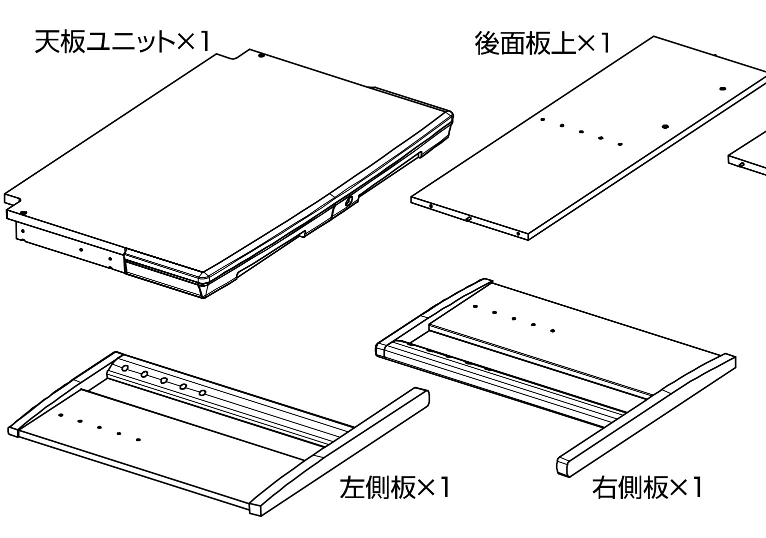
部品明細（組立て前に必ずご確認ください。）

ア ×1	スイングフック専用コネクトボルト（M6×60mm） 実物大	イ ×8	コネクトボルト（M6×35mm） 実物大

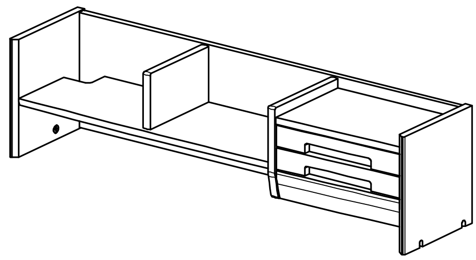
ウ ×6	リング	エ ×10	片側連結ボルト（24mm）	オ ×4	天板受けダボ	カ ×6	ナット用キャップ	キ ×1	スイングフック	ク ×2	フック

ケ ×4	ネジ式ダボ	コ ×2	キー

⚠ **組立てには⊕のドライバーをご使用ください。**
＊電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。



上　棚

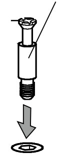


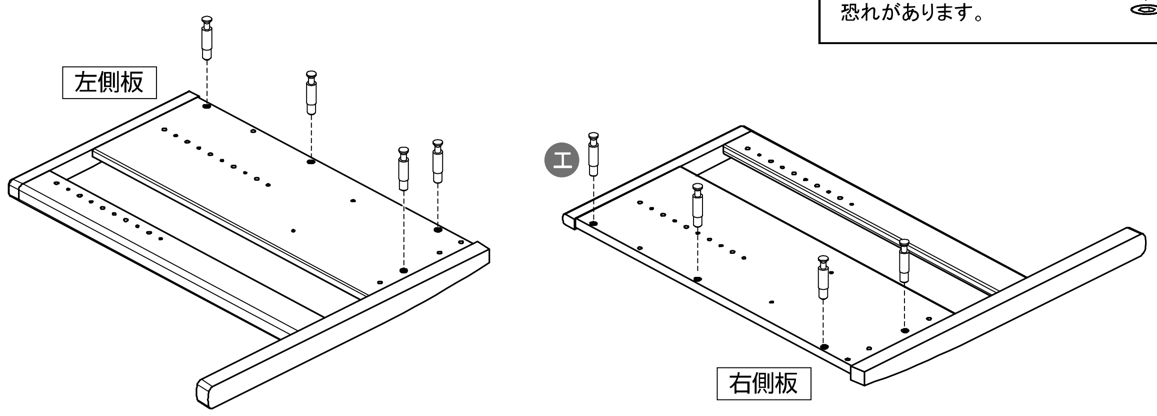
1 側板とへ連結ボルトの取付け

左右の側板に各4本づつ エ の片側連結ボルトをねじ込みます。

Point 〔連結ボルトについて〕

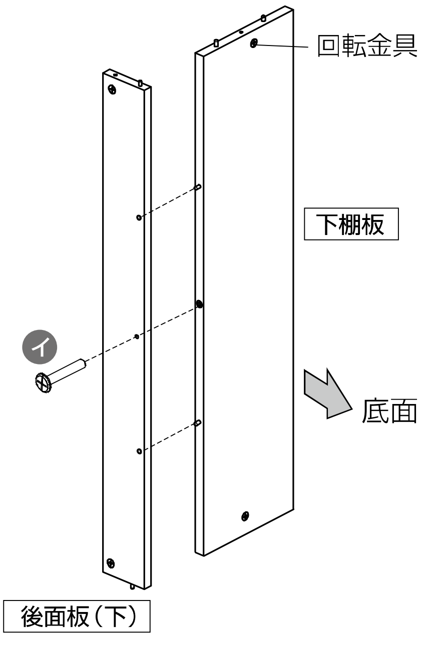
連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。





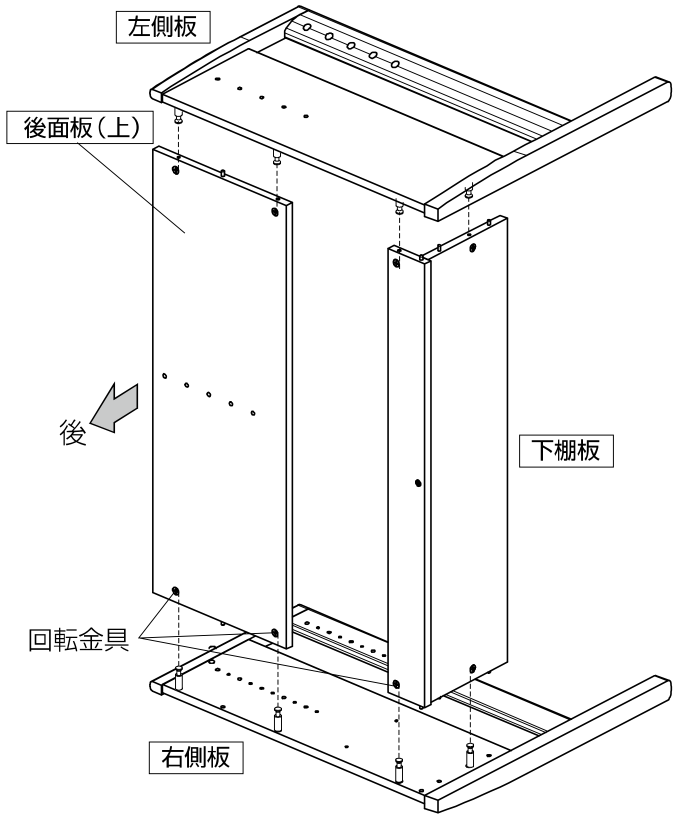
2 後面板（下）と下棚板の取付け

下棚板の回転金具面が底面になるようにして イ のコネクトボルトを差し込みしっかり締付けますけます。



3 側板と後面板（上）、下棚板の取付け

側板に後面板（上）と 2 で組み付けた下棚板部材を取付け、回転金具でしっかり締付けます。
後面板（上）（下）は、回転金具面が後面になるように取付けます。



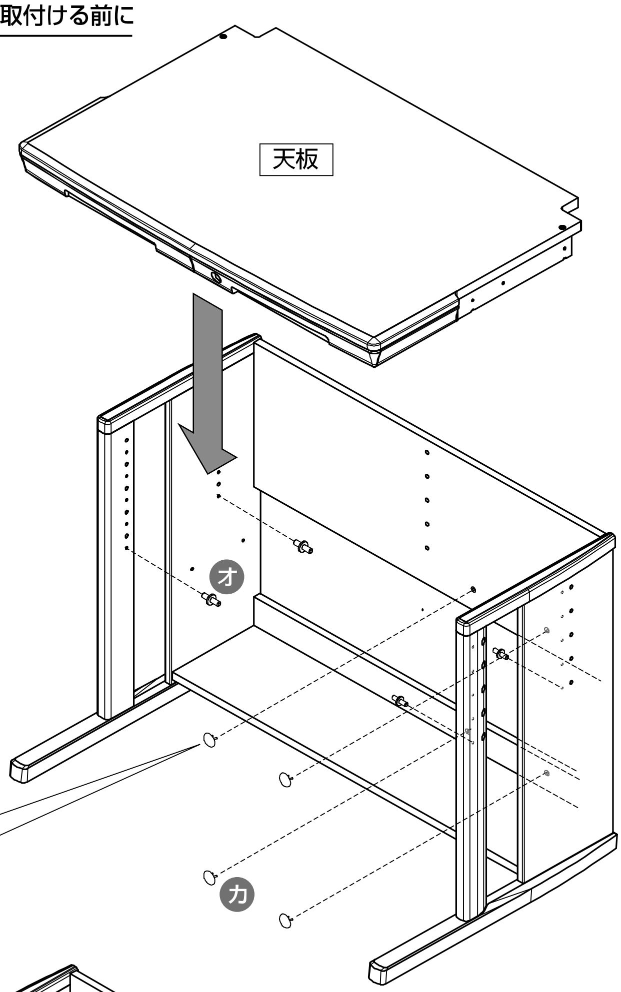
4 天板の取付け

天板の高さはご使用される方の身長に応じて5段階に調節ができます。
組立てる前にP.2の「デスク天板の高さ、イスの高さ･奥行き」をご覧になり天板の高さを決めてください。

3段ワゴンの引出しユニットを天板下に納める場合は、天板を取付ける前に引出しユニットを取付けてください。

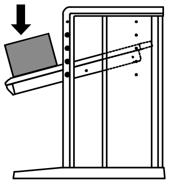
天板の高さを決め、その高さの位置のダボ穴4カ所に㋔の天板受けダボを取付け、その上に天板をのせます。

⚠ **注意　4カ所の天板受けダボは同じ高さに取付けてください。**
天板受けダボの取付け位置が違っていた場合、天板が落する恐れがありますのでご注意ください。

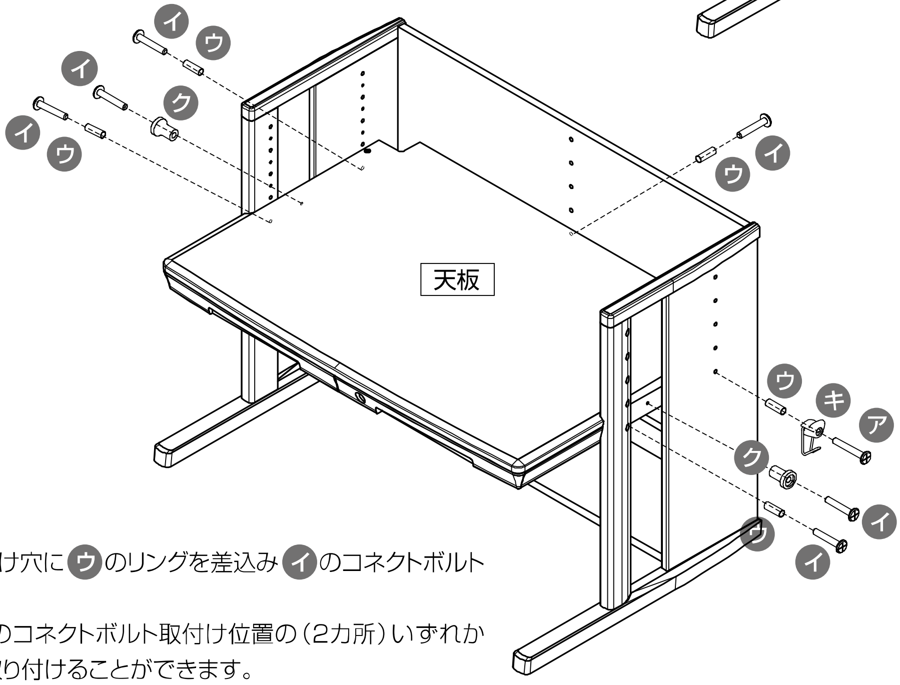


⚠ 注意

天板仮置きの状態では、天板の前側に物を置いたり荷重をかけないでください。天板がずれて落下する場合があり大変危険です。



3段ワゴン引出しユニットを天板下に取付けない場合は、後面板の左図位置に㋕のナット用キャップを取付けてください。

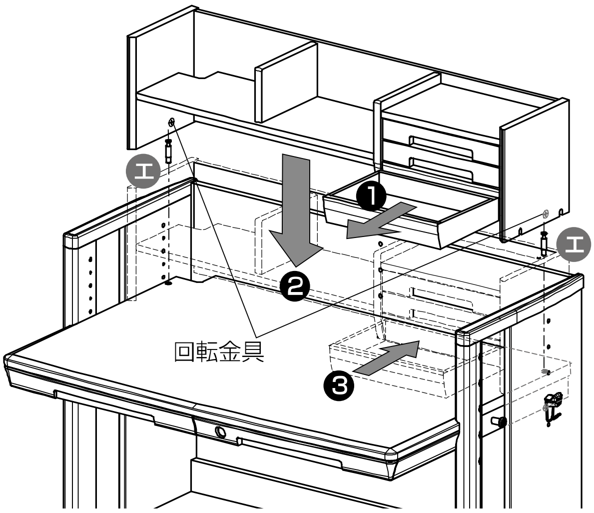


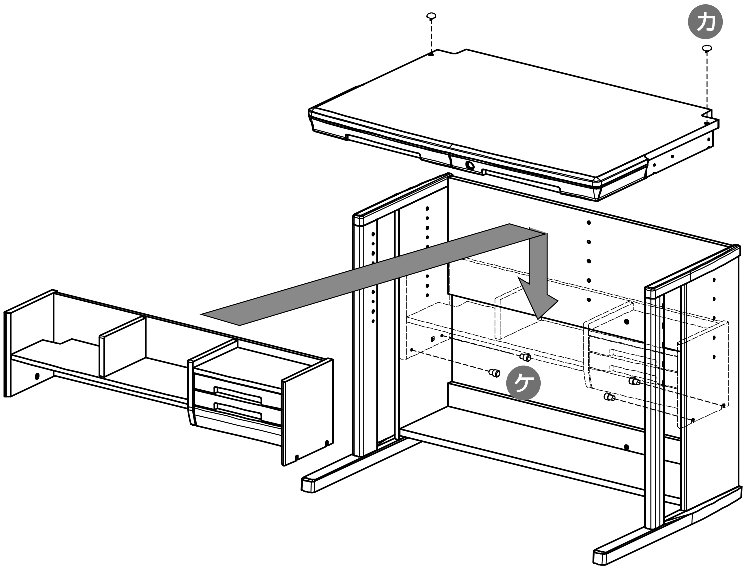
側板及び後面板の天板取付け穴に㋒のリングを差込み㋑のコネクトボルトで締め付けます。
この取付け時に、左右側板のコネクトボルト取付け位置の（2カ所）いずれかに㋖のスイングフックを取り付けることができます。
㋗のフックは図の位置、天板の左右2ケ所に取り付けることができます。

5 上棚の取付け

■天板上に取付ける場合

天板上に上棚を取付ける場合、全ての高さで取付けることができます。
最初に右側最下段の引出しを取外します。
次に、天板奥の連結ボルト取付け穴2ケ所に エ の片側連結ボルトをねじ込み、連結ボルトに合わせて上から上棚を取付け回転金具をしっかり締付けます。
最後に、最下段の引出しを取付けます。





■天板下に取付ける場合

天板の高さが5号以上場合に取付けることができます。側板内側のダボ穴に ケ の天板受けダボをねじ込みます。上棚の側板にダボ受け溝がありますので、その溝とダボが合うように上棚を上から落とし込みます。天板の連結ボルト穴に カ のナット用キャップを取付けます。

※3段ワゴンの上部引出しユニットを天板下に収納した状態では、上棚を天板下に取付けることはできません。

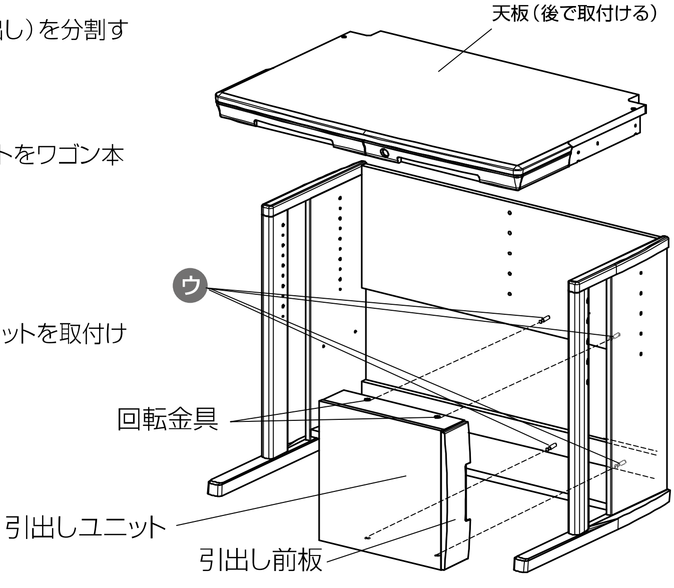
3段ワゴンの引出しユニットの収め方

天板高さJIS2号、3号の場合は引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。
分割したユニットは図の場所に収納することができます。

① ワゴンを分割し、引出しユニットと ウ の片側連結ボルトをワゴン本体より外します。

② 取外した連結ボルトを図の場所にねじ込んでください。
※取付け場所は本体に向かって右側のみとなります。

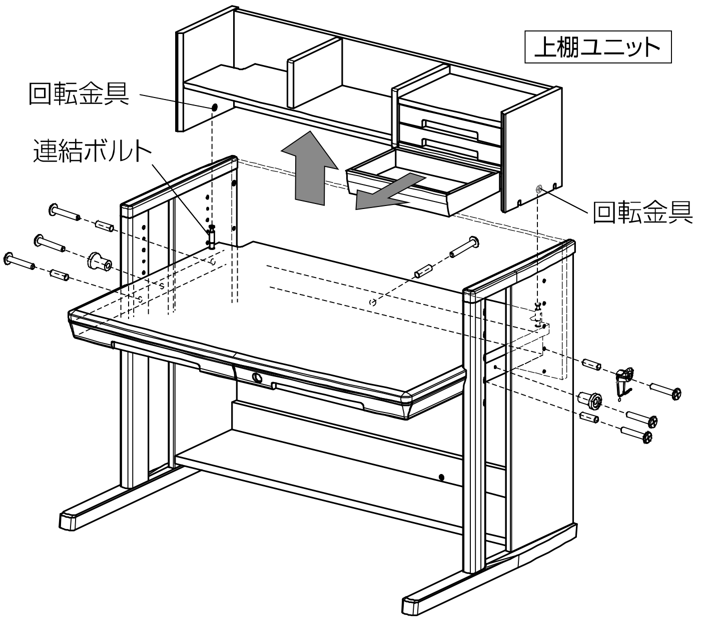
③ 引出し前板がデスク側板の方を向くように、引出しユニットを取付け上部回転金具2ケ所のみ右に回し、締付けてください。



デスクの組替え方

① 上棚、天板上の片付け

上棚および天板上と引出しの中の物を片付けます。
照明器具が取付けられている場合は照明器具も取外します。

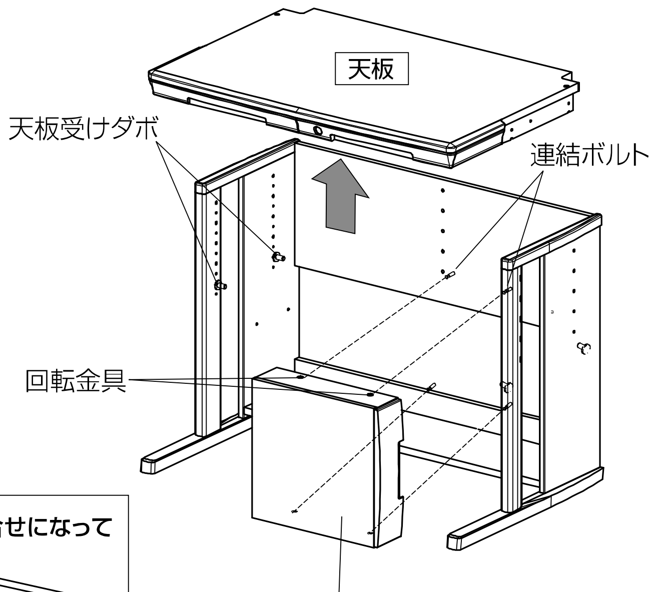


② 上棚の取外し

右側最下段の引出しを取外し、棚ユニットを固定している左右側板の回転金具を緩め（**左に回す**）、上棚を天板から外します。

③ 天板の取外し

（天板が天板受けダボに載っているのを下からのぞいて確認してください。）
後面板と左右の側板に取付けられているコネクトボルトとフックを外します。



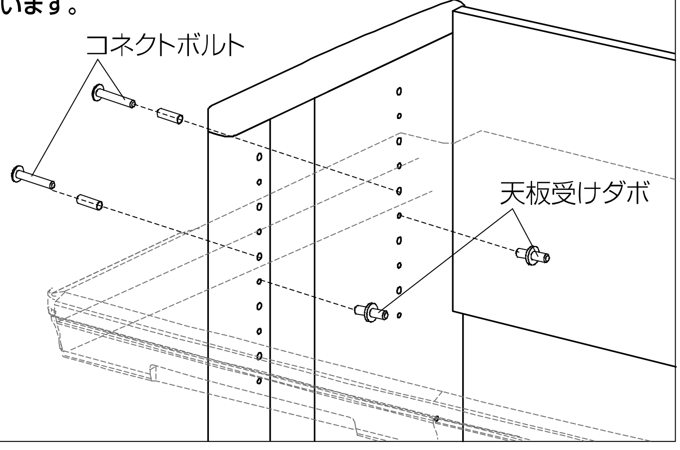
④ 3段ワゴン引出しユニットの取外し

引出しユニットが本体に取付いている場合、引出しユニットを取外します。
（後面板の片側連結ボルト4本も外します。）
＊外した片側連結ボルトは、ワゴン本体と連結時に使用します。

⑤ 天板の再取付け

側板の天板受けダボの高さを変更し、天板を載せます。

上の穴がコネクトボルト、下の穴が天板受けダボの組合せになっています。



天板高さの目安は P3を参照し、天板高さを決めてください。

⑤ 上棚の取付け

上棚・照明等を再度取付けてください。

おかしいな？ と思ったら

Q 組立てがうまくいかない。部品が取付かない。

A 説明書の手順で組立てていますか？取付け部品の種類や向きが間違っていませんか？

Q 木目や色が想像と違う。展示品や写真と違う。

A 木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。

Q 部品が余ってしまった。

A 組立パターンにより、使用しない部品や部材が生じる場合があります。組替え時には必要になりますので大切に保管してください。

修理と製品保証について

この度はオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。
万一保証期間内（一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく）に故障した場合は無料にて修理をさせていただきます。
（お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。）

修理は必ず本保証書を添えて、まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

保証期間	不具合箇所・現象の例			期　間	
	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの磨耗		1年	
	機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障		2年	
	構造体	強度・構造体にかかわる破損		3年	
品　　名	デスク	品　番	865PAD	お買上日	年　　月　　日
おところ		販売店名			
お 名 前					㊞

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
　イ）組立て･取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
　ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
　ハ）お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理･改造などによる故障。
　ニ）本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ホ）保証書の提示がない場合。
　ヘ）消耗部品の交換。
　ト）火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
4. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社支店あてにお問い合せください。

株式会社 岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所　インテリア営業部　製品開発室
ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ･ご相談は お客様サービスセンターへ　フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 9:00～17:20（土･日･祝日を除く）

I 1506-01